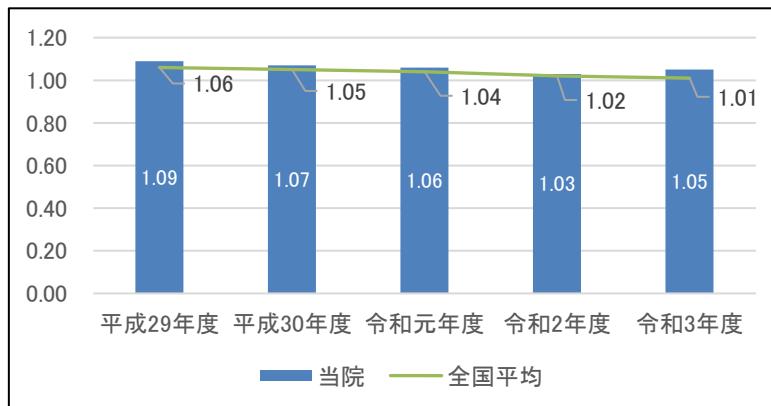


## 30 患者構成の指標

### ○項目の解説

在院日数の長い複雑な疾患の患者をどの程度診療しているかを表現した指標です。全国のDPC対象病院の疾患毎の平均在院日数を用いて、各国立大学附属病院の患者構成の違いを相対的に表します。数値は1が全国平均であり、1より大きい場合、在院日数を長く必要とする複雑な疾患を診療している病院といえます。つまり、高度な医療を提供する国立大学附属病院として、治療の内容が複雑な患者をより多く診療していることを示す指標です。「項目29 在院日数の指標」と「項目30 患者構成の指標」の二つの指標を使って、どの程度複雑な疾患を、どの程度効率的に診療しているのか、病院の特性を知ることができます。

### ○当院の実績



### ○当院の自己点検評価

当院は、特定機能病院であり、最北端の大学病院という地域性もあるため、多くの医療圏から治療が困難な重症患者を受け入れています。そのため、入院日数を長く必要とする複雑な疾患が多く、高度な治療が行われており、病院全体で適切かつ効率的に治療が行えていると考えています。

### ○定義

厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。

(当該年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値を、DPC毎の患者構成を当該年度全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数で除した値)

参考 URL:[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043\\_00005.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00005.html)

### ○算式

指数